

# 地球温暖化に伴う 気候変動と 資産運用リスク

最新のIPCC報告書によると、人類が化石燃料を使い続ける限り、温暖化は進行すると見込まれている。また温暖化が地球環境に重大な影響を与える前に温暖化を止めるためには、2050年頃までに新規の排出をゼロにする必要があるとされている。化石燃料の使用を今後30年程度で止めることは非常に困難で、海面上昇、異常気象の激化、干ばつ地域の拡大による重大な影響が発生する可能性が高い。また、こうした重大な状況に直面した段階になってはじめて、各国の政府は温暖化ガスの削減に本気で取り組むようになることが予想される。その場合には石油や石炭の実質的な使用禁止や、それによる産業構造の激変が発生しうる。これは株価、地価などの資産価格を大きく変化させ、金融システムにも重大な影響を与えると見込まれる。

2020年  
10月29日(木)  
14:40~16:10

講師

ふか お み つ ひろ

深尾光洋先生

武蔵野大学経済学部経済学科教授

慶應義塾大学名誉教授

京都大学工学部卒、ミシガン大学Ph.D. (経済学)

EY 新日本有限責任監査法人 社外評議員、監査委員長

〔略歴〕

日本銀行 経済企画庁 O.E.C.D.、慶應義塾大学商学部教授などを経て、現在に至る。  
この間、各種審議会委員を歴任

〔専門〕

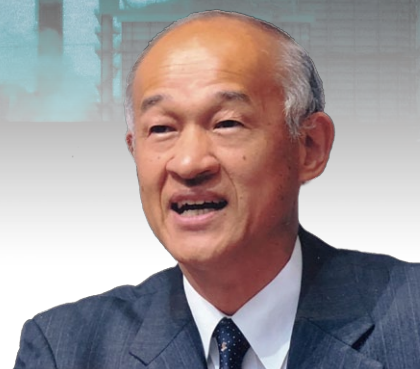
国際金融論、金融論、コーポレート・ガバナンス

〔主要著書・論文〕

2012年 『財政破綻は回避できるか』、日本経済新聞出版社

2014年 『金融財政システム危機の発生メカニズムと予防・対処方法』、澤田康幸編『巨大災害・リスクと経済』第7章、日本経済新聞出版社

2018年 "Financial Market Efficiency: A Comparative Perspective," in Dongchul Cho, Takatoshi Ito, and Andrew Mason eds., *Economic Stagnation in Japan: Exploring the Causes and Remedies of Japanization*, Edward Elgar Publishing.



世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University

武蔵野大学

お問い合わせ

TEL 03-5530-7730

MAIL [seikeken@musashino-u.ac.jp](mailto:seikeken@musashino-u.ac.jp)

主催：武蔵野大学政治経済研究所  
(庶務担当) 学部事務課